

News Letter

Vol.70 Autumn
2025.10月

細谷隊員 活動報告

8月末、桐生商工会議所主催の「地産地消マッチング事業」に参加し、桐生市産ジビエの提供を行いました。

桐生市産ジビエは今年2月28日から解禁となりました。しかし現在、流通しているのは「旧桐生地域で捕獲された鹿肉」のみで、新里・黒保根地域については流通経路や販路の確保が進んでいない状況です。

そこで今回は、桐生市産ジビエの需要がどの程度あるのかを把握するためのモニタリングを行い、併せてPR活動を実施しました。来場者からは「全然臭くない、柔らかい」といった声をいただき、今後の流通拡大に向けた参考となる有意義な機会となりました。

また、9月18日（木）には上田沢のサロンにて、地元猟友会副会長と協力し「ジビエレザークラフト」体験を実施しました。

今回はイノシシの革を活用したキーホルダー作りに取り組みました。体験を通して、参加者の皆さまにジビエレザーを始めた経緯や、地域資源としての新たな可能性を紹介することができました。さらに、革細工の作業は細かい指先の動きを必要とするため、楽しく健康づくりにもつながる活動となりました。

今後も地域の方々と連携し、取り組みを進めていきます。引き続き、地域資源を活かした活動を通して、桐生市の魅力発信と地域活性化に努めてまいります。



ジビエ提供の様子



ジビエレザーのキーホルダー作り

OB 岩崎 活動報告

猛暑が過ぎ去り、ようやく秋の気配を感じられるようになってまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年の夏も花見ヶ原森林公園キャンプ場は大変賑わい、ありがたいことに忙しい日々が続くうちに、あっという間に過ぎ去ってしまいました。毎年「今年こそは夏らしいことを！」と意気込むのですが、結局あまり何もできずに終わってしまう…そんな夏がここ数年続いています。それでも、今年はキャンプ場で「野外シアター」を開催できたことが、心に残る大切な思い出となりました。

また、キャンプ場でのお仕事に加え、群馬県庁と協力しながら県内の地域おこし協力隊のサポートにも日々取り組んでおります。県内を飛び回りながら、さまざまな地域の方々と関わらせていただき、学びを深めているところです。

そして、この10月で黒保根町に移住して丸6年となります。毎年、金木犀の香りに触れるたび、東京から移り住んできた日のことを思い出します。少しずつ黒保根町の一員らしくなれてきたかなと感じつつも、初心を忘れず、これからも頑張ってまいります！



花見ヶ原森林公園キャンプ場での
野外シアターの様子